



北海道バスケットボール協会  
指導者育成専門委員会

2007 / 3 / 4(火)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 18

## 「北海道ブロック・エンデバー・バスケットボール強化合宿報告」

北海道ブロック・エンデバーコーチ 横 嶋 暢 貴

平成14年度に「JABBA 変革21」に基づいて日本バスケットボール界の強化体制の一貫性を図ると共に「20年構想」へ継続する強化システム、エンデバーが開始されて5年が経とうとしています。

「日本オリジナリティー・バスケットボール」の構築を図り、日本代表選手となりうる選手、指導者の発掘と育成、強化を図る趣旨で行われております。今回2月16・17日に行われた北海道エンデバー強化合宿を終えての感想を書いて欲しいとの要請がありましたので、たいへん恐縮ではありますが述べさせていただきます。

北海道ブロック・U-18のコーチをお引き受けし、5年前東京にブロックコーチが集められエンデバーの伝達講習会が行われました。日本全国から日本独自のバスケットボールをどのように教えるのか？興味津々で伝達講習会に行ったのを覚えております。

幅広いプレーヤーにファンダメンタルを教えるにあたり3年前練習ドリルの紹介DVDを使用し、今年度までU-12からU-18まで紹介された練習ドリルを使いスキルのアップに励むということで強化合宿を行ってきました。

オフェンスでは空間支配(間の取り方) タイミング((時間的認知)とスペーシング(空間的認知)、ディフェンスでは5原則として1、スタンス 2、ビジョン 3、ポジション 4、コミュニケーション 5、ウィル(目的意識・意志)を主眼に練習方法を組み立てました。

毎年選手個々のファンダメンタルの違いがあり、今年集まった選手はどうだろうか？今年集まった選手は、札幌地区から12名、他の地区から8名の20名です。練習時間が1日目2時間半、2日目3時間という短い日程の中で何をどう教えるのかむずかしい問題はたくさんありますが、北海道を代表する選手選考と広い北海道から集まった各地区代表なのだから、しっかりとした自覚を持って練習してほしいとの趣旨を話し練習を開始しました。

ウォーミングアップの中にOFE・DEFのフットワークを組み入れ足の強さを強制し特に姿勢(パワーポジション)を意識して行ってほしい趣旨を伝え、ボールハンドリング・ドリブル・シュートのファンダメンタルドリルを行ってみましたが、シュートでは足の弱さや体幹の弱さなのかシュート態勢が乱れてしまうということに、今年の選手は大きいことに関係しているのかと私も佐々木先生も感じました。

1日目は、その事を考えボールの持ち方・ボールの位置・足の使い方(特にミートキャ

タッチ)を注意しシュートドリルを多くしてみました。2日目は、選手選考を行わなければならないため、ボールのもらい方・速攻3メン・アウトナンバープレー・パス&ランなどのファンダメンタルを2時間、4対4・5対5のスクリーンメージを1時間行いました。

今回集まった選手は、1年生が6名と例年より多く、その中にはこれから非常にうまくなる可能性を持った選手もおりエンデバーの活動を北海道の中で細分化して行い、広く北海道の選手・コーチに伝えていく方法はないのかと感じましたし、このような機会を利用し指導者の育成も、もっと必要ではないかと感じております。北海道ブロックから全国トップエンデバーに毎年選考される選手を作り上げるのは、コツコツと北海道自体でも一貫指導を行わなければとも感じます。

昨年ジュニアオールスター(U-15)で北海道が優勝したことで、U-15のレベルは全国でもトップクラスと考えますが、U-18高校生レベルでは、まだまだ全国に後れを取っているのではと考え、高校の強化育成を考えた時に北海道のコーチとしてこれの良いのかとここ数年考えております。アジアや世界に通用する選手の育成のために、若い時期の選手たちに基本を大切にされた指導を心がけ、これからも微力ながらお手伝いできればと考えております。

この強化合宿から国体等の北海道選抜に発展し強い・頑張る北海道バスケットボール界に少しでも近づけるよう願っております。簡単・雑駁ではありますがエンデバーの報告とさせていただきます。

HBA (北海道バスケットボール協会) 指導者育成専門委員会